

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：平成 29 年 6 月 6 日（火）
9:35～12:30（2～4 校時）

場 所：雲南市立斐伊小学校
6 年生教室・体育館・理科室
対象者：雲南市立斐伊小学校 6 年生 18 名
指導者：○ 6 年生担任
○ 古代出雲歴史博物館 2 名

1. 主題（主題名）

奈良時代の木次と奈良の大仏

2. ねらい

- ・地域を素材とした歴史学習を通し、歴史・文化財に対する興味・関心を高める。
- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、込められた先人の思いについても触れる。
- ・和同開珎を製作する体験を通して、古代の人々の生活や技術を考える。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援及び留意点	準備物
9:35	1. 学習の見通しをもつ（6 年教室） <ul style="list-style-type: none">・講師の紹介を聞く。・学習の流れをつかむ。	<ul style="list-style-type: none">・講師の仕事や研究成果等を話す。・学習の流れを掲示する	予定表または板書
9:40 (20 分)	2. 奈良時代の木次について学ぶ <ul style="list-style-type: none">・学校周辺の遺跡について学ぶ・『出雲国風土記』について・出土品や資料を見学する	<ul style="list-style-type: none">・学校周辺の遺跡を紹介する。・『出雲国風土記』の大原郡について紹介し、当時の様子を想像する。	長机 2 出土品 プリント
10:00 (20 分)	3. 奈良時代の大仏について学ぶ	<ul style="list-style-type: none">・大仏造立困難さや工法を視覚的に理解できる映像（DVD）を活用。	
10:35 (45 分)	4. 奈良の大仏の巨大さを体験を通して学ぶ（体育館） <ul style="list-style-type: none">・1m四方の部品をパズル形式で組み立て、高さ 18mの大仏を完成させる。・大仏が造られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。・独特な仏像の作風について質問し、疑問を解く。	<ul style="list-style-type: none">・奈良の大仏の実物大パネルを活用。・理解しやすい写真パネルを多様。・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行。	大仏パネル 写真パネル
11:35 (45 分) 12:20	5. お金の歴史について学ぶ（理科室） <ul style="list-style-type: none">・古代のお金について知る。・和同開珎を作る。 6. 学習をふり返り、感想を発表する	<ul style="list-style-type: none">・和同開珎について説明する。・和同開珎の作り方、古代の技術について理解できるようにする。・質問や感想を発表する。	ワークシート 体験セット カセットコンロ

4. 準備物等

- ・学 校・・・予定表（板書）、長机 2つ、新聞紙
- ・児 童・・・ノート、筆記用具
- ・博物館・・・ワークシート、出土品、写真パネル、奈良の大仏の実物大パネル、和同開珎作りセット